

## 第8回小平市第2次健康増進計画検討委員会 要録

### 1 日時

令和5年10月19日（木）午前10時から午前11時まで

### 2 開催場所

小平市健康センター4階 視聴覚室

### 3 出席者

小平市第2次健康増進計画検討委員会委員：12名うちウェブ出席2名（欠席者4名）  
事務局：健康・保険担当部長、健康推進課長、健康推進課長補佐兼保健指導担当係長、  
健康推進課長補佐兼予防担当係長、保健指導担当係長、健康推進担当係長、  
事務局職員1名

### 4 傍聴者

なし

### 5 配付資料

資料1 第8回小平市健康増進計画検討委員会 次第  
資料2 第7回小平市健康増進計画検討委員会意見一覧  
資料3 （仮称）第2次こだいら健康増進プラン素案（原案）

### 6 議題（次第）

#### (1) 議事

- ① 第7回小平市健康増進計画検討委員会内容報告について
- ② （仮称）第2次こだいら健康増進プラン素案（原案）について

#### (2) その他

## 7 会議の概要

### (1) 開会

委員長より開会のあいさつを行った。

健康推進課長より委員会の進め方について説明を行った。

事務局より会議資料の確認を行った。

### (2) 議事

#### ① 第7回小平市健康増進計画検討委員会内容報告について

資料2をもとに事務局から説明を行った。

委員長：ただ今の説明について、ご質問やご意見があれば、お願いしたい。

委員：意見一覧について、項番1の全体について「増加」「減少」という文言を、「増やす」「減らす」に修正したのは良いと思う。「以上」「以下」についてはつけないということだが、私は必要だと思う。他の委員のご意見を伺っても良いだろうか。

委員：国の第4次食育推進基本計画などの指標を見ると、目標値に「以下」や「以上」と書いてあるので、私もあった方が良いかと思う。

事務局：国の健康日本21（第3次）の指標には、「以上」や「以下」がついていないところを踏まえ、本計画についてはこの検討結果のとおり、参考意見とさせていただくが、内容としてはこのまま進めさせていただきたい。

委員：項番2の胃がんの精密検査の受診率については、91%と高いのはなぜかを聞いたので、確認して欲しい。

事務局：胃がんだけ目標値が91%になっており、この1%の違いは何かというご質問については、61ページにあるとおり、胃がんについては現状値が90.2%で、既に他の目標値である90%を超えていることから、期待値として91%としたところである。意見一覧の「目標値が91%では低いのでは」という内容は、訂正させていただく。

委員：項番2に「乳がんの受診率の目標値が低いのでは」と書いてあるが、5項目すべてが低いので、修正して欲しい。

事務局：意見一覧の書き方については確認したい。

委員：記録として残るのに、違いがあるのは困るのではないか。後で確認していただきたい。

項番5で、特定健康診査受診率が64ページに新たに追加されているが、過去11年間における最高値は平成30年度の52.1%で、50%を超えたのは令和元年の51.4%の2回だけである。この高い目標値を設定した理由と根拠を教えてください。

事務局：特定健康診査受診率については、先程ご説明したとおり、他のデータヘルス計画との整合性を図るため、同じ数値を設定している。

委員：では、この数値は健康推進課が決められる設定値ではないのか。

事務局：計画自体は健康推進課で策定しているが、計画の策定に当たっては、他の関連計画との整合性を図りながら策定することとなっているため、目標値等についてはこちらの数値を設定している。

委員：64 ページの特定保健指導実施率（40～74 歳）の目標値が 60%と設定されている。実績としては平成 27 年度が 18.4%、令和 2 年度が 14%だったが、平成 28 年度から令和元年度の間で、最高の年度と数値を教えて欲しい。

事務局：手元にある 26 年度以降の資料では、最高が令和 2 年度の 22.1%で、1 番低かったのが平成 29 年度 14.4%となっている。今申し上げた数値は、保険事業概要と捉え方が違うので若干ずれてはいるが、概ね水準としては合っているので、水準として捉えて欲しい。

委員：今まで 20%を超えたことはないということか。この資料には 14.0 と書いてある。

事務局：令和 2 年度は 22.1%である。保険事業概要から取っている資料と、私の持っている資料とは、少し時期がずれているので、ぴったり数値は合わないが、概ね水準はそれくらいだと捉えていただきたい。

委員：30%を超えたことがないのに、目標値が 60%と高い理由と、根拠を教えて欲しい。

事務局：こちらも、先程の特定検診の受診率の目標値と同じように、データヘルス計画との整合性を図るため、そちらの目標値を設定している。

事務局：補足させていただくと、特定検診と保健指導の数字が目標値とかなり離れているというのは、私どもも認識している。そもそも設定値がどこから来ているかということ、国より関連する計画を策定するにあたってのガイドラインが示されており、これは国民健康保険では何%、健保組合では何%と、それぞれの保検者によって設定値が違う。我々は国民健康保険を預かっているので、そこからその数値を持って来ている。その数値が、乖離は確かにあるのだが、検診も保健指導も 60%という設定値で進めて行くということが示されているので、我々はそれを準用して、小平市のデータヘルス計画や、それと関連する本健康増進計画の中でも、60%という数字をそれぞれ設定しているところである。

委員：項番 9 で、ロコモティブシンドロームの認知度ではなく、こだ健体操のままで進めたいとのことだが、「知っている人」の割合ではなく、「知っており、実践している人」に変更した方が良いと思う。

事務局：まだこだ健体操の認知度が現状 22.6%で、5 人に 1 人なので、まずは知っている人の人数を増やすところから始めたい。知っている人の人数が増えて

いけば、やったことがある人や出来る人が増えて行くのではないかという考え方も出来るので、まずは知っている人で目標を設定したい。

委員：この意見一覧の中に、変わったのに触れられていないものがある。グラフが分かりにくいので自分で作成したグラフを事務局に提出した。事務局で5つのグラフが変更されているが、委員の皆様を確認してもらった方が良いのでは。

事務局：意見としては変更部分のところで触れている。この後の議題である（仮称）第2次こだいら健康増進プラン素案（原案）についてのところで、グラフの体裁を整えた旨は説明させていただきたい。

委員：「増加」「減少」を、「増やす」「減らす」に修正するのは私も賛成だが、「増やす」「減らす」以外に数値で書いてあるものについては、数値が明確に示されているので、その数値をもって増やす、減らすと考えるということで、良いだろうか。また、現状値の数値がどこから出典されたのか、これから示されるのかも知れないが、最終的な計画の中でも示されると、より分かりやすいかと思う。

事務局：数値が書かれているところについては、現状値に対して目標値が高いものは増やして行き、逆は減らしていくという主旨で記載しているところである。単純に増やす、減らすという表記になっているところは、数値が極端だったり、0（ゼロ）にしたいようなものだったりするので、そういった表現になっている。現状値の出典については、全て書いてしまうと見にくくなる箇所もあるため、基本現状のままいく予定ではあるが、どうしても分かりにくい部分については、全体のバランスを考えながら工夫するよう検討したい。

## ② （仮称）第2次こだいら健康増進プラン素案（原案）について

資料3をもとに事務局から説明を行った。

委員長：ただ今の説明について、ご質問やご意見があれば、お願いしたい。

委員：グラフについて5つ変更があったが、皆さんの印象を知りたい。以前に比べて見やすくなったかどうか、まだ改善点があるか。

委員長：個人的には現在のグラフで十分だと思う。皆さんうなずかれているので、よろしいようである。

委員：前回指摘した、7ページ①と16ページ③の、2つの円グラフへの総数や総額という追加記載がされていない。7ページの死亡総数は1722人、疾病別医療費の総額は約120億円かと思う。

事務局：前回ご提案いただき、参考とはさせていただくが、今回はお示しした内容で進めていきたい。

委員：総数が書かれていないグラフは普通ではないと思う。

事務局：参考意見とさせていただきます。

委員：意見一覧に記載された事項と、私がこれまで話した事項以外で、第7回委員会終了後に変更したことはないか。あれば教えて欲しい。

事務局：軽微な文言の修正は行っている。訂正した箇所については先程ご説明した通りで、それ以外に大きな変更は行っていない。

委員：10ページの標準化死亡比に、がんの種類別、男女別の死亡数について、7ページの主要死因別死亡数の推移と同様、実数が記録された表があると分かりやすいのではと、前回提案した。参考にさせていただくとの回答だが、図の下にスペースもあるので記載できるのでは。

事務局：参考意見とさせていただきます。

事務局：標準化死亡比については、年齢調整を加えている数字なので、実数を書いちゃうとその比率と大きく離れてしまうため、載せない方が良いと考えている。

委員：市民には理解が難しいので、図表を用いた具体的な説明が必要ではないか。これに関する資料をメールで送り、参考にさせていただくと言われたが、どう参考になったか教えて欲しい。

事務局：図表は難しいが、用語説明で記載する予定である。

事務局：難しい専門用語については、製本される最後の段階で、巻末に用語説明を設けるので、そこで市民の方にも分かるように、工夫を加えたいと考えている。

委員長：前回も巻末に、専門用語や解説をつけたと思う。

委員：コラムは素案には載せないのか。前回会議から1か月あったが、案はまだ見せてもらえないのか。

事務局：コラムは計画の内容に合わせたものになる。この1か月は計画の1章から5章の総ざらいをする作業を行っており、庁内各課に確認してもらう時間もそれなりに必要である。コラムは、ある程度内容が固まってから、どういう内容にするかの検討になる。パブリックコメント前の素案の段階ではコラムは載せず、最後の段階で入れることになる。この計画だけでなく、他の市の計画でも、そのように作成している。

## (2) その他

事務局より今後のスケジュールと、次回の日程について説明を行った。(令和6年2月8日(木)午後2時より開催予定)

委員：素案の最終版が出来たら、委員に連絡するのか。

事務局：今日お配りしているのは素案の原案であり、この原案をもとに庁内の手続き

を進めることになる。庁内の手続きが終わり、素案になった段階で皆様にはご連絡させていただく予定である。その時に何か変更点があればお示しし、特になければそのまま素案になった旨をお伝えする。その後、素案をパブリックコメントにかけ、そこでいただいた意見を反映し、ブラッシュアップする手続きがある。そのブラッシュアップした結果を２月８日に皆さんにお示しし、見ていただくことになる。そして来年３月には正式に計画が策定するという流れになっている。

委員：次に協議する場で、最終版が決まるという理解で良いか。

事務局：パブリックコメントで市民の皆さんに見ていただくのは、素案である。そこでいただいたご意見を反映させたものがプランになる。

委員：庁内で決まったものを我々に示すことはないのか。令和３年度に行われた小市民の健康に関する意識調査では、市民に送り出す前に十分な最終確認が行われないまま、アンケートが実施された事例がある。

事務局：先程申し上げたとおり、庁内の手続きが終わり、素案になった段階でご連絡をする予定である。

委員：それに対して意見を言えるのか。

事務局：素案の原案はこの場で見て作っていただいたので、基本的にはここまでである。

委員長：役割分担でやっているの、各段階でどこまで関わるかというのは、市の方で決めていただければ良いと思う。

事務局：令和３年度に行われた健康に関する意識調査については、アンケートの内容を皆様に吟味いただき、審議していただいた上で、市民の皆様にアンケートを実施させていただいた。その内容については、市民 2,000 人の意見をこちらで分析し、最終的に報告書としてまとめたものを、委員の皆様に、第２回の会議の時に結果報告としてお示しさせていただいたものである。調査の結果については、アンケート結果として報告させていただいたということが会議の内容となるので、その点についてはご了承ください。

委員：今まで事務局に色々データを送っているの、ぜひ市民に分かりやすく、市民のためになるように、考えていただきたい。

以上